





雪舟が修行した寺

寶福寺仏殿・方丈・玄関及び食堂・庫裏ほか



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	ほうふくじぶつでん ほうじょう げんかん およびしょくどう くりほか
所在地	総社市井尻野
指定年月日	平成21年4月28日
解説	寶福寺は臨濟宗の寺院で、雪舟が修行した寺として有名である。住持の接客や仏事などに使用する方丈は江戸末期建築で、大規模方丈建築の好例である。江戸後期建築の玄関及び食堂、江戸中期建築の庫裏は、方丈とともに重厚な構えを見せる。このほか、寛政5年(1793年)建築で海鼠(なまこ)壁が特徴的な宝蔵、中井戸や典座井戸が登録される。
アクセス方法	JR総社駅から車で約8分 / 岡山自動車道岡山総社ICから車で約10分
公開状況	外観のみ。[電話番号]0866-92-0024
設備	トイレ  駐車場  障害者用トイレ  障害者用駐車場 
備考	寶福寺の敷地は、岡山県の史跡に指定されています。

きつずページ



仏殿



山門

していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	寶福寺仏殿・方丈・玄関及び食堂・庫裏ほか
よみかた	ほうふくじぶつでん ほうじょう げんかん およびしょくどう くりほか
しょざいち (所在地)	総社市井尻野
していつひ (指定した日)	平成21年4月28日
せつめい	室町時代(むろまちじだい)の水墨画家(すいぼくがか)雪舟(せつしゅう)が、子どものころに修行(しゅぎょう)していたとされているお寺(てら)です。足をつかって涙(なみだ)で描(か)いたネズミの絵の話(はなし)はとても有名(ゆうめい)です。お寺の主(おも)な建物(たてももの)は江戸時代(えどじだい)に建(た)て直(なお)されたもので、今でもりっぱな姿(すがた)のまま残(のこ)されています。